

## りょうCafé Zoom (千葉県政報告会)

令和8年6月25日(木)  
19時30分～21時  
Zoom(オンライン)

【第1部:広報(19時30分～20時15分)】  
石川りょうから千葉県政の情報や千葉県議会の動きなどについてご報告します。  
【第2部:広聴(20時15分～21時)】  
参加者の皆さまから、千葉県政や船橋市政に関するご質問やご意見、ご要望などをうかがいます。

参加費無料。途中入退室いつでも可能。  
参加をご希望の方は、右の二次元コードから入室。または、下に記載の連絡先やSNSなどからご連絡ください。



## りょうCafé 芝山団地商店街

毎週水曜日の10時から正午まで、芝山団地商店街のフリースペースで千葉県政や船橋市政に関するご質問やご要望等をうかがいます。事前にご予約いただけます。公務で実施できない場合があるため、SNSなどで開催予定や状況をご確認ください。



## プロフィール

- 1980年(昭和55年)11月15日生まれ
- 芝山中学校、八千代高校、立教大学法学部卒業
- JICA青年海外協力隊・村落開発普及員(ケニア)
- 国連プロジェクトサービス機関(UNOPS)
- 英国国立マンチェスター大学大学院修了
- 開発コンサルタント会社アイ・シー・ネット(株)
- 外務省在スーダン大使館、在南スーダン政府連絡事務所(現大使館)二等書記官
- 早稲田大学公共経営大学院修了
- 船橋市議会議員(2期)
- 千葉県議会議員(1期目)



▲東京都小児医療センター



▲県立印旛児童相談所視察

【資格など】  
TOEFL(CBT)257点(TOEIC915点相当)、仏語検定3級、プロジェクトマネジメントスペシャリスト(PMS)、政策学校「一新塾」32期生、ビール検定2級、ふなばし市民大学校平成26年度ボランティア学科

## 連絡先など

石川りょう公式サイト  
<https://ishikawaryo.net>



エックス



公式LINE



アムブロ



ご意見やご質問、ご要望を何でもお寄せください!

発行者:石川亮  
事務所:船橋市芝山2-2-1-208  
携帯電話:080-6575-4711  
メール:info@ishikawaryo.net



## 千葉県議会議員(船橋市選挙区)

# 石川りょう通信

政党無所属

【Vol.17】



## 令和8年度当初予算 千葉の未来をつくる予算へ

千葉県の令和8年度当初予算は、一般会計で2兆2,534億8,700万円、前年度比3.0%増となりました。県の総合計画「千葉の未来をともに創る」を策定してから初めての通年予算であり、成田空港を核とした成長戦略、社会資本の整備、子育て・教育、医療・福祉を同時に前へ進める内容です。コロナ禍で膨らんだ年度を除けば過去2番目の規模と受け止められており、県として「未来への投資」を強く打ち出した予算と言えます。

令和8年度当初予算の詳細は右のQRコードよりご覧いただけます。



### 【教育】子育てと学びを支える予算

今回の当初予算では、教育や子育てへの支援が大きく前進しました。新たに公立小学校などの給食費について、児童1人あたり月額5,200円(特別支援学校は月額6,200円)を補助します。あわせて、私立高校授業料への支援拡充、中所得層まで対象を広げる給付金、県立学校の空調整備やトイレ改修の推進、さらに県立学校160校すべてへの屋外AED整備も盛り込まれました。子育て世帯の負担軽減と、子どもたちが安心して学べる環境づくりを進める予算です。

### 【インフラ】船橋のまちづくりも前進

道路や水道、庁舎整備といった社会基盤の充実も着実に進められます。道路ネットワーク事業には令和7年度2月補正と合わせて約859億円を計上し北千葉道路などを推進。水道では、管路耐震化に向けて県営水道事業への出資を24年ぶりに再開し約82億円を計上。船橋に関わるものとしては、葛南合同庁舎再整備の着手や、海老川上流地区の土地区画整理への補助も盛り込まれています。

### 【視点】大切なのは実行と成果

一方で、県税収入は増える見込みでも、人件費や社会保障費も増え続けています。予算をつけて終わりではなく、それが本当に県民生活の改善につながるかを見ていくことが大切です。私も船橋市民の立場から、今回の予算が現場でどう生かされるのか、これからも丁寧にチェックしてまいります。

### 【医療】安心につながる支援拡充

医療・福祉の分野でも、暮らしの安心につながる施策が並びました。#7119と#8000は受付時間が拡充され、夜間や休日の急な体調不良への不安軽減が期待されます。帯状疱疹ワクチンへの市町村支援や周産期医療の強化も進みます。また、医療的ケア児の通学に係る保護者支援モデル事業は、すべての県立特別支援学校に拡大。在宅医療や訪問介護の現場を守るため、暴力・ハラスメント相談窓口や防犯機器導入支援も計上されました。



会派(千葉新政策議員団)と熊谷知事

## 在宅医療から訪問介護にも拡大 現場を守る対策が前進

石川りょう通信第13号では、昨年6月補正予算に盛り込まれた在宅医療従事者の暴力・ハラスメント対策についてご報告しました。利用者さんのお宅を訪問して支援にあたる医師や看護師の皆さんが安心して働ける環境を整えるため、県が相談窓口の設置や防犯機器の導入支援に取り組み始めたことは大きな前進でした。

ただ、私はその時から、「守るべきなのは在宅医療の現場だけではない」と考えてきました。実際には、訪問介護の職員の皆さんも同じように利用者さんのお宅を訪れ、時には暴言や威圧的な言動や不当な要求などに悩まされることがあります。介護人材の確保が大きな課題となる中で、安心して働ける環境づくりはとても重要です。

そこで私は、予算委員会で、訪問介護の現場にも同じ水準の支援を広げるべきだと提言しました。その結果、県は訪問介護事業所へのアンケートや聞き取り調査を実施し、現場の声を踏まえて、令和

8年度当初予算で、事業を「在宅医療・訪問系介護従事者等安全確保対策事業」と拡充。対象を訪問介護まで広げることになりました。

新たに、介護事業所向けの普及啓発、相談センターの対象拡大、防犯ブザーや通話録音装置などの導入補助も盛り込まれています。第13号でお伝えした取り組みが、今回さらに一歩前へ進み、議会で求めてきた改善が形になったことを、大変うれしく思います。これからも、制度が現場でしっかり役立つものとなるよう、丁寧に見てまいります。



## 県立学校のAED屋外設置が前進 文教委員会で訴えた内容が予算化

昨年6月の文教常任委員会で私が取り上げた、県立学校へのAEDの屋外設置が、令和8年度当初予算で実現することになりました。県は新たに、全ての県立学校160校でAEDを屋外に設置する事業として1,400万円を計上しました。屋外活動中や休日の学校内で心停止などが起きた場合にも、迅速に対応できる体制を整えるものです。

この問題を取り上げたきっかけは、県内の公立高校でPTA役員を務める保護者の方からの切実な声でした。校舎内にAEDがあっても、放課後や休日にグラウンドで部活動をしているとき、すぐ使えなければ意味がありません。実際、当時は県立高校121校のうち屋外にAEDを設置していたのは36校にとどまる一方、複数台設置は114校まで進んでおり、必要性は現場で強く認識されていました。

私は委員会で、「救命は時間との勝負。屋外活動中でも、休日でも、すぐ手が届く場所にAEDがある

べきで、PTAや学校任せにはしてはならない」と訴えてきました。

今回、県の事業として屋外設置が明確に位置づけられたことは、文教委員会で質疑が具体的な予算措置につながった成果だと受け止めています。これからは、設置して終わりではなく、分かりやすい配置や点検、周知まで含めて、実際に命を守る仕組みになるよう、引き続きしっかり見てまいります。



## #7119と#8000が前進 通信12号でお伝えした提言が予算で実現へ

石川りょう通信第12号では、夜間や休日の急な体調不良のときに頼りになる、千葉県の電話相談事業「救急安心電話相談（#7119）」と「こども急病電話相談（#8000）」についてご報告しました。突然の発熱やけがで「救急車を呼ぶべきか」「今すぐ受診すべきか」と迷う場面は、誰にでも起こり得ます。そんなとき、看護師などに電話で相談できるこの仕組みは、県民の不安を和らげるとともに、救急医療の現場を守る大切な役割を果たしています。

一方で課題もありました。#8000は令和5年度に66,582件の電話があったのに対し、実際に応答できたのは55,588件で、約1万1千件は受けきれなかった状況でした。また#7119も、平日・土曜は18時から翌8時、日曜・祝日は9時から翌8時の運用で、休日に「空白の1時間」がありました。私は議会で、こうしたつながりにくさや空白時間は改善すべきだと訴え、体制の強化を求めてきました。

そして今回、令和8年度当初予算で嬉しい前進が

実現します。#7119は24時間365日体制へ、#8000は日曜・祝日の24時間化へと拡充されることになりました。私の課題提起が具体的な予算措置につながったことは大きな成果だと感じています。

もちろん、拡充して終わりではありません。大切なのは、「本当につながる体制になったか」「県民の安心につながっているか」を、これからしっかり見ていくことです。これからも現場の声を県政につなぎ、暮らしの安心を少しずつでも前に進められるよう、取り組んでまいります。



## 国道296号・前原西工区の渋滞対策が前進 中野木交差点周辺の改良へ

船橋市内でも渋滞が深刻な、国道296号の中野木交差点から成田街道入口交差点までの区間（約500m）について、道路改良が一步前進します。

この区間では、中野木交差点で花輪インター方面へ向かう車が交差点内にたまりやすく、その渋滞が成田街道入口交差点付近まで伸びてしまうことが課題となってきました。通勤や買い物で通る方の中には、「なかなか前に進まない」と感じている方も多いのではないのでしょうか。

計画では、中野木交差点に花輪IC方向への左折専用車線を新たに整備し、直進する車と左折する車の流れを分けることで、交差点を通る車の流れをスムーズにすることが狙いです。あわせて歩道も整備し歩人にとっての安全性も高めていきます。

この事業は、すぐにすべての渋滞が解消するというものではありませんが、慢性的な混雑や事故リスクの高い箇所に対して、県が具体的な改良に

動き出すことには大きな意味があります。物流や救急搬送の面でも効果が期待されており、地域の暮らしを支える道路整備として重要です。

工期は令和8年度から17年度までと長期にわたりますが、船橋市民にとって身近な交通課題がようやく前に進み始めました。今後も、着実に事業が進むのか、しっかり見てまいります。

